

鵬程万里

前途が明るく、
将来の見通しが
ある

JR東日本労働組合

ジャーナルエイト

美食堪能・山形

10月4日(水曜日)

仙台地本主催「団結・芋煮交流会」が開催された。

馬見ヶ崎河川敷・唐松観音近くの芋煮会場であり、4回目の今回も観音様と大鍋は笑顔で迎えてくれた。

佐藤中央執行委員長の紹介・挨拶する凛々しい姿勢はまさにアスリートそのものでした。



今思えば昨年の欠場で皆勤賞を逃したことが悔やまれてならない。新幹線乗車までは禁酒を誓い、「つばさ」が待ちどろしくしてならない。

車窓を楽しみながら山形着。佐藤副委員長から駅で待つようにと厳命された。会場入りすると、既に盛り上がっているグループも見られ、旅の疲れも忘れて輪に入った。

地本からは佐藤副委員長、加藤業務・組織部長と付き

添い、松岡執行委員と報道局委員が参加した。



報道局委員は日本酒「鶴齢」を目敏く見つけた瞬間に笑顔が弾けた。松岡さんはいええばいつものように五能線での日本海紀行「単なる飲んべい旅行」に行くとの事で飲んでる写真が届く事は間違いない。お疲れさまでした。



今後の日程

12月9日

第6回 執行委員会

交運三多摩 定期総会

21日 連合三多摩 定期総会

12月13日

車掌協議会 定期総会

2018年

1月5日 事務所開き

11日 本部旗開き

20日 交運三多摩 旗開き

27日 地本新春の集い

協力をお願いします。

独り言

平成29年10月22日執行の衆議院議員選挙は、私たちに何を問う、私たちは何を選択する選挙だったのか。

国会において圧倒的な多数を背景に憲法まで蔑ろにしてきた強大な与党(自民・公明)は、国民に何を求め、訴えたのか。

国会での議論・審議・説明責任を放棄し、国民・国の財産を私有物の用に扱う(森友・加計学園)姿は政治屋にしか見えない。その張本人は解散総選挙という伝家の宝刀を振りかざした。

大義(後付け)はなく、明らかに自己保身であり、党則を変えさせてまで、総理の座に固執する傲慢な姿は、怒りを通り越して哀れに見えた。

振り回される政治家も政治家だと思わずにはいられなかった。無責任な知事が国政に口をはさむ「国政を放棄した方」、しかも平然と「排除します」と会見する姿は悪意にみちていた。排除します、の一言が選挙を左右したと思っ

人は多くいるはずだ。

結果として政権与党は勝利したわけだが、選挙直前の共同通信の世論調査では、自民党が優位を保ちながらも安倍内閣の不支持率は46・2%、支持率は40・6%で不支持が上回っていた「史上2番目の低投票率」。

安倍総理は嫌いだけど多く、かといって他に選択する党が無かった。選挙当初の野党分裂(立憲民主・希望・無所属)が影響したとはたしかだ。小池・前原のアシストが与党に利して、二大政党制への道を閉ざしてしまったのではないか。

その結果が安倍一強を印象付けてしまったのではないか。

思うに今の選挙制度(小選挙区制)は、日本人には馴染まないのではないか。

この選挙戦を通して感じた事は多くの国民は丁寧に説明するとした(森友・加計学園)問題を忘れてはいないし「こんな人たちに負ける訳には」や排除しますの発言を忘れることはない。

しかし、立憲民主党の躍進には目を見張る物があった。最後に山花衆議院議員の誕生を心から祝福します。